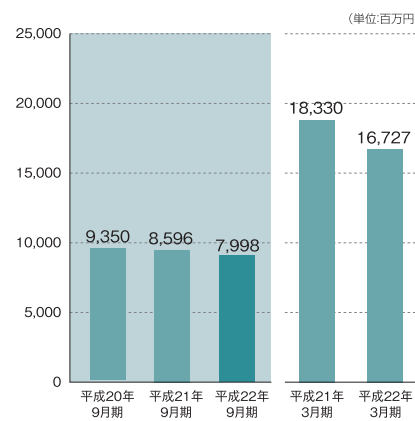


業績のハイライト(個別) The highlight of achievements

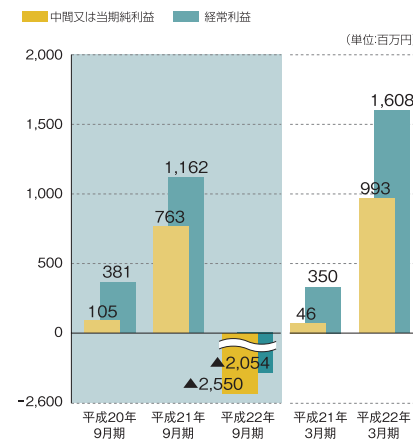
経常収益

経常収益は、貸出金利回りの低下により貸出金利息が減少したことなどから、79億98百万円(前年同期比6.9%減)となりました。



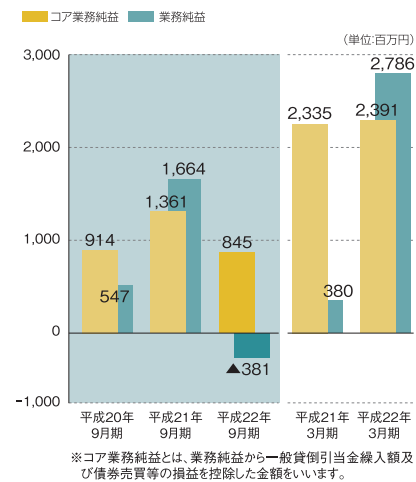
経常利益・中間純利益

経常損益は、株式市場の低迷等の影響により、保有有価証券の一部について24億円の減損処理を実施したことなどから、20億54百万円(前年同期比276.7%減)の損失、中間純損益は、25億50百万円(前年同期比434.2%減)の損失となりました。



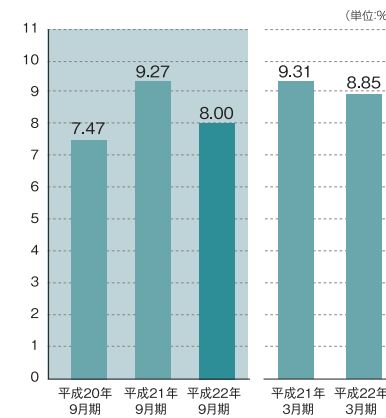
業務純益・コア業務純益

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したことや金融派生商品損益(金利仕組みローン等)の改善幅が縮小したことなどから、8億45百万円(前年同期比37.9%減)となりました。



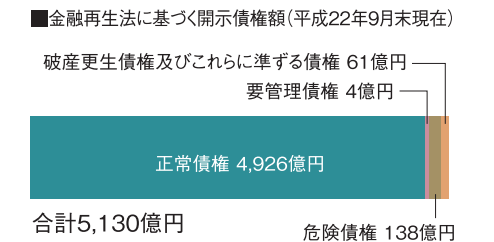
単体自己資本比率(国内基準)

単体自己資本比率(国内基準)は、平成22年3月比0.85ポイント低下し、8.00%となりました。



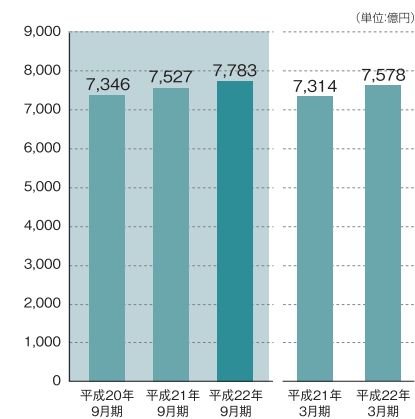
金融再生法開示債権

金融再生法に基づいた資産査定の結果、銀行の保有する債権(貸出金・支払承諾見返等)のうち、正常債権以外の債権額は、204億58百万円(前年同月比34億49百万円減)となりました。



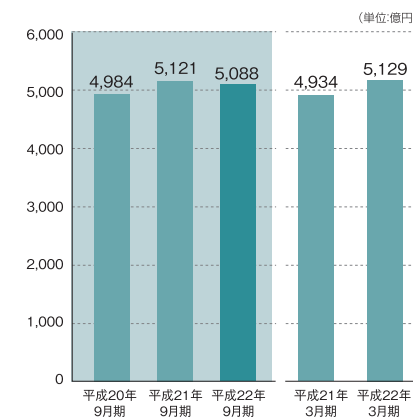
預金・譲渡性預金残高

預金・譲渡性預金残高は、主力の個人預金や公金預金などが堅調に推移したことなどから、7,783億63百万円(平成22年3月比205億42百万円増)となりました。



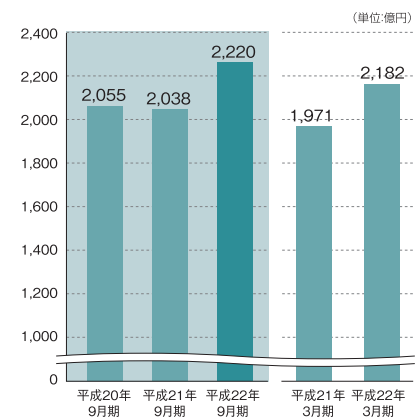
貸出金残高

貸出金残高は、中小企業向け貸出や地方公共団体向け貸出が増加したものの、大企業向け貸出が減少したことなどから、5,088億88百万円(平成22年3月比40億68百万円減)となりました。



有価証券残高

有価証券残高は、地方債や社債の運用が増加したことなどから、2,220億91百万円(平成22年3月比38億28百万円増)となりました。



格付

当行では、第三者による評価をととして、財務内容の健全性と経営の透明性を積極的に開示していくことにより、株主やお取引先の皆さまに当行の経営状況をより深くご理解いただくことを目的に、株式会社日本格付研究所(JCR)より格付を取得しております。

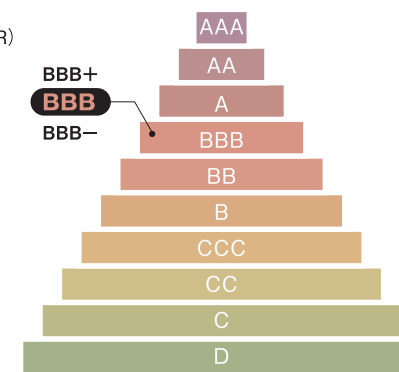
格付機関
株式会社日本格付研究所(JCR)

格付種類
長期優先債務格付

格付
#BBB(#トリプルBフラット)

見通し
ネガティブ

(平成22年12月末現在)



金融再生法開示債権の保全内訳

	債権額(A)	保全額(B)		保全率(B/A)
		担保・保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,146	6,146	4,887	100.00%
危険債権	13,869	13,497	11,899	97.31%
要管理債権	442	333	298	75.42%
正常債権	492,629	259,951	258,913	52.76%
合計	513,087	279,929	275,998	54.55%

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権。

要管理債権

3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。

正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記3つの債権以外のものに区分される債権。

不良債権比率の推移

